

県内観光エリア別 令和 5 年の主な増加要因

令和5年3月策定の第5期神奈川県観光振興計画に合わせ、昨年から7つのエリアに分けて分析を行いました。

- **横浜・川崎エリア**では、横浜市で、「横浜港大さん橋国際客船ターミナル」等への来訪者の増加や、「ポケモンワールドチャンピオンシップス 2023 横浜みなとみらいイベント」の開催などにより、1,195 万人増加しました。また、川崎市では、「川崎競馬場」等への来訪者の増加などにより、64 万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 1,259 万人増加しました。
- **箱根エリア**では、小田原市で、「小田原城址公園」等への来訪者の増加や、「酒匂川花火大会」等イベントへの参加者の増加などにより、106 万人増加し、過去最高の入込観光客数となりました。また、箱根町で、「大涌谷・芦ノ湖」等への来訪者の増加などにより、215 万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 330 万人増加しました。
- **湘南エリア**では、鎌倉市で、「各寺社」等への来訪者の増加などにより、33 万人増加しました。藤沢市では、「江の島サムエル・コッキング苑」等江の島への来訪者の増加などにより、260 万人増加しました。大磯町で、「大磯海岸」「大磯ロングビーチ」等への来訪者の増加などにより、14 万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 451 万人増加しました。
- **丹沢大山エリア**では、秦野市で、「丹沢表尾根大倉」「秦野たばこ祭」等への来訪者の増加などにより、39 万人増加しました。愛川町で、「あいかわ公園つつじまつり」等のイベント再開などにより、6 万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 24 万人増加しました。
- **相模湖・相模川流域エリア**では、相模原市で、「相模原麻溝公園」等への来訪者の増加や、「橋本七夕まつり」等イベントの再開などにより、327 万人増加しました。また、海老名市で、「ロマンスカーミュージアム」等への来訪者の増加などにより、27 万人増加しました。座間市で、「大凧まつり」「ひまわりまつり」のイベント再開などにより、16 万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 443 万人増加しました。

- **三浦半島エリア**では、横須賀市で、「三笠公園」等への来訪者の増加や、「ソレイユの丘」、「よこすかポートマーケット」のリニューアルオープンなどにより、96万人増加しました。逗子市で、「逗子海岸花火大会」等イベントの再開などにより、10万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は159万人増加しました。

- **足柄エリア**では、松田町で、「桜まつり」等イベントへの来訪者の増加などにより、6万人増加しました。山北町で、「尾崎（丹沢湖）」等への来訪者の増加や、「やまきた桜まつり」等イベントの再開などにより、32万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は40万人増加しました。